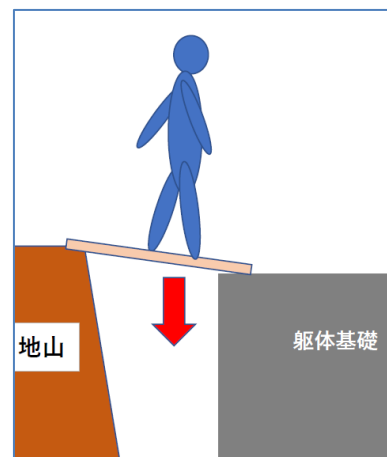


死亡労働災害速報（2021. 5）

（建災防宮城県支部）

角材を使用した通路から転落し、死亡			
発生年月日	令和3年5月11日 午後3時55分頃		
業種	建築工事業	事業場規模	不明
事故の型	墜落・転落	起因物	仮設物
発生状況	<p>小学校の建築工事現場で、建物の型枠取付け作業において、深さ1.2メートルの溝部分に幅9cmの角材2本をかけ渡した架設通路から、男性作業員(52歳)が転落し、鉄パイプ等に胸を強く打ち、死亡した。(マスコミ報道等より)</p>		
類似災害防止対策	<p>〔現在、関係機関で調査中のため、一般的な類似災害防止策を列挙します。〕</p> <p>(本件事故原因を示したものではありません。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 足場（作業床）・架設通路を設置する際は、丈夫な構造の床材を用い、十分な幅（40cm以上）・足場材の転移脱落防止・堅固な手すり設置等の対策を講じること。 2. 足場・通路の設置・変更・解体を行う場合は、元方事業者と事前に協議し、安全基準を確保したうえで行うこと。 3. 通路の設置にあたっては、危険箇所は通行禁止とし、柵・表示の設置を行い、関係作業員に周知徹底すること。安全通路は工事の進捗状況や作業内容に応じて、見直しを行い、不安全行動を誘発することのないよう配慮すること。 4. 専門工事業者においても、リスクアセスメントを実施し、危険の洗い出し、リスクの低減措置を実施すること。元方事業者は、協力会社に対して、リスクアセスメントを的確に実施するよう指導・支援を行うこと。 5. 型枠の設置・解体作業は、作業主任者の指揮下に行わせ、足場の適切な設置、安全帯の使用状況を監視させること。 6. 加齢に伴い、一般に、バランス能力、俊敏性、視認性の低下等がみられ、転倒・墜落災害に遭いやすくなる傾向があることを踏まえ、作業負荷の軽減、災害発生リスクへの対応に関する安全教育の実施等を行うこと。 		



事故のイメージ(実際の状況とは異なります。)